

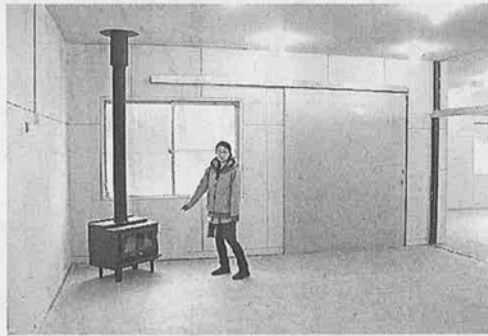
四国

四国は過疎地域の集落のうち、65歳以上の高齢者が半数以上を占めるいわゆる「限界集落」の割合が全国で最も高い。そうした中で情報ネットワークと豊かな自然を生かして若い世代や起業家を呼び込んだり、高齢者の安全・安心を確保する先端的な医療に取り組む動きが始まっている。

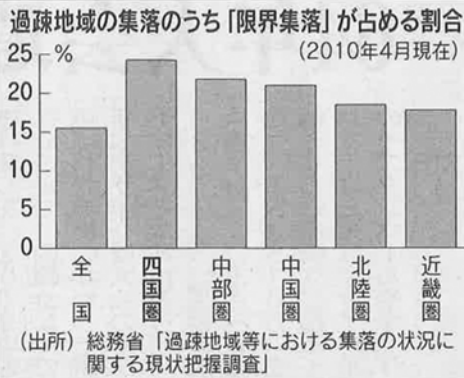
徳島市から車で1時間弱の山あいにある神山町。IT企業や個人事業者向けの共有オフィスが23日、オープンする。NPO法人、グリーンバレー(神山町)が開設する。県が全国有数のブロードバンド環境を売り物に進めるサテライトオフィス誘致事業の一環だ。

課題先進地域
四国の挑戦

新政権船出の中で 5



23日にオープンするまきストーブなどを備えた共有オフィス(徳島県神山町)



自然やIT、若者呼ぶ

過疎に負けない

サテライトオフィス事業の背景にある考え方を「創造的過疎」と名付け、抑制する」という発想だ。08年、定住を見据えながら起業したい人に空き家を貸し出す事業を開始。町が必要とする人を確保するための医療体制の充実だ。四国では島しょ部が多いなどの厳しい地理的条件を克服する

企業の受け入れ窓口となり、オフィスや住居に使用する古民家の紹介など手掛けるグリーンバレーの大南信也理事長は、

「創造的過疎」と名付け、抑制する」という発想だ。08年、定住を見据えながら起業したい人に空き家を貸し出す事業を開始。町が必要とする人を確保するための医療体制の充実だ。四国では島しょ部が多いなどの厳しい地理的条件を克服する

「松山市」の木下徹社長は「今後は乳酸菌を使っ

り組んでもらう試みで、移住者も4人現れ

た。これをヒントに2008年、定住を見据えながら起業したい人に空き家を貸し出す事業を開始。町が必要とする人を確保するための医療体制の充実だ。四国では島しょ部が多いなどの厳しい地理的条件を克服する

事業も現在9社が進出。滞り、先端的な医療への多彩な取り組みが始まっている。

島で遠隔医療

瀬戸内海に浮かぶ6つの島に人が住む愛媛県上島町。65歳以上の人口が40%を超える実態を逆手にとり、高齢者の健康問題の解決策を模索するプロジェクトが昨年8月から進行中だ。

NPO法人しまの大学(上島町)と愛媛大学、カネカなどが連携。生命活動の維持に欠かせない「還元型コエンザイムQ10」を摂取してもらい、健康状態を分析する。プロジェクトに参加する分折会社、ちいき進かがく(松山市)の木下徹社長は「今後は乳酸菌を使っ

た食品の効果も調べたい」と話す。

瀬戸内海に24の有人島がある香川県では、島しょ部の少子高齢化が進行し、医師不足も深刻化している。県は12年11月、テレビ映像を通じ医師の診療を受けられる「遠隔医療」で、患者宅で診療を補助する看護師の育成に乗り出した。映像で医師の指示を受け、インフルエンザ検診やエコー診断をできるようにする。

新政権は道路整備や高齢者の医療費負担の据え置きといった地域活性化策を打ち出しているが、地域の資源や住民、企業、自治体の知恵に根ざした実行力こそが「課題解決先進地域」への飛躍に向けた原動力になる。

この項おわり

支局 徳島 0887-6831-233484
高松 0888-1652-203349
松山 0891-8721-23349
知山 0891-8721-23349